

令和8年（2026年）8月23日

8月23日(日)、小学5年生から高校3年生までの11名が参加し、「子ども☆ミライ会議」を開催しました。市制 100 周年の際に、子ども企画委員が策定した「ミライへの提言『八王子はわたしたちがつくるまち』」を具現化するため、今年度は「私が考える日本遺産の魅力の伝え方」をテーマに、2回のワークショップで準備してきたことを、副市長と教育長に発表しました。



学園都市センターでの本番。舞台に整列し、たくさんの観客を前に緊張した面持ちながらも、それぞれのグループで考えた意見をしっかりと発表しました。自分で調べた資料のスライドなども使いながら、わかりやすい発表となるよう工夫しました。途中には、司会者から参加者の緊張をほぐすようなフリップを使った質問がありました。



今回は、海外友好交流都市である始興市へ送ったビデオレターを上映しました。子ども企画委員の有志が出演したビデオレターです。日本遺産の構成文化財の魅力を分かりやすく説明したビデオレターは、とても好評でした。

発表テーマ

●グループ1

- 「八王子の魅力の伝え方」
 - ・「昔ながらの建造物」
 - ・「高尾山」
 - ・「八王子まつり」



●グループ2

○「八王子の文化を体験を通して伝える」

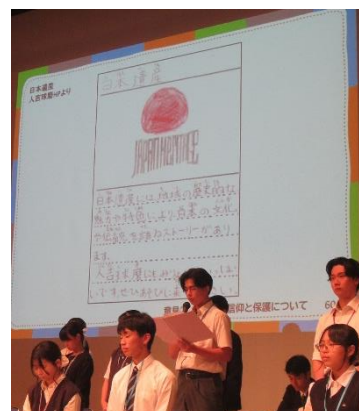
- ・「八王子の歴史、町並みを伝える方法」
- ・「八王子の構成文化財の魅力を伝える方法」
- ・「高尾山の日本遺産としての歴史を、
登山客にむけて発信する方法」



●グループ3

○「子どもが伝える八王子の歴史」

- ・「八王子城跡と八王子城跡御主殿出土品」
- ・「高尾山の信仰と保護について」



グループ発表のあとに、関係所管課からコメントがありました。どの所管課の方も子ども企画委員の考えに共感し、子どもたちのアイディアを参考にしていける思いを話してくれました。さらに、司会者から子ども企画委員へ個別の質問があり、意見のもとになった思いや背景について、話すことができました。

どのグループもこれからの「はちおうじ」について、様々な角度から自分たちで調べ、考えた意見を述べました。副市長・教育長をはじめ会場の観客にもその熱意が伝わる発表となりました。副市長・教育長から激励と称賛の言葉をもらい、子ども企画委員の表情からは自信と喜びが感じられました。

